

試合会場レポート

[試合番号]特設2

[開催日]2011/10/30

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]13:00

[終了時間]14:37

[試合時間]1:37

[主審]松代 寛

[副審]高橋 直也

[記録員]市村 武士

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：

3	25	第1セット 【 0:25】	22	1
	25	第2セット 【 0:20】	18	
	24	第3セット 【 0:23】	26	
	25	第4セット 【 0:20】	18	
		第5セット 【 : 】		

土浦日本大学高等学校

監督：福田 誠

コーチ：吉田 達也

【 】内はセット時間

戦評

男子決勝は順当に勝ち上がった第1、第2シードの対戦となった。

第1セットは中盤まで両者譲らずの展開。しかし、霞ヶ浦高等学校のエース1番植竹を土浦日本大学高等学校がブロックで連続に仕留め、17-15と一歩抜け出す。ここで霞ヶ浦がたまらずタイムアウト。このタイムアウトを境に流れは霞ヶ浦に傾く。霞ヶ浦4番北島などの活躍で、逆に20-18とリードを奪う。土浦日大もここでタイムをとり引き離されまいとするが、試合巧者の霞ヶ浦は着実に得点を重ね、第1セットを25-22で土浦日大を振りきった。

続く第2セットは、終始霞ヶ浦が主導権を握る一方的なゲームとなる。霞ヶ浦の速いコンビネーションに土浦日大のディフェンスが崩され、大きなトスを霞ヶ浦ブロック陣に待ち構えられてしまう。土浦日大にいいところなく、このセットも霞ヶ浦が25-18で連取した。

土浦日大には後がない第3セット、土浦日大が意地を見せる。序盤の競り合いから土浦日大4番國府田の連続サービスエースで13-10とリードして中盤を優位に展開する。しかし霞ヶ浦も追いつき、終盤20-18と2点のリードを奪い返す。ここで勝負が決したかに見えたが、土浦日大1番河田の3連続アタックポイントなどで23-23のジュースに持ち込むと、最後は霞ヶ浦にアタックミスが重なり、土浦日大が再逆転の26-24でこのセット一矢報いた。

第4セットは、第3セットを取られたことで火のついた霞ヶ浦が序盤から土浦日大を圧倒。得意のコンビネーションバレーも冴えを見せ、21-13と大きくリードを広げる。土浦日大は8番内山が渾身のスパイクサーブで捨て身の勝負をしかけるも、最後はサーブミスで万事休す。25-18で霞ヶ浦が第4セットを奪い、セットカウント3-1で春高バレーの出場権を獲得した。